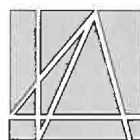


清流



No. 47

●発行 社会福祉法人 か ん な 会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

「要求を伝える」支援の取り組み

「コミュニケーションに苦手さのある

Nさんへの取り組みを通して」

障害福祉サービス事業所ポプラ

主任生活支援員 鈴木ゆき子

平成二十九年に他施設から移動してきたNさんは自閉症と診断されている。Nさんへの支援の取り組み、経過を報告したい。

まず、Nさんがポプラを利用開始するにあたってNさんの障害特性、これまでの生育歴等からポプラでの活動を組み立て、受け入れ準備を進めた。新たな日中活動の場としてポプラでの活動がスタートした。初めは緊張感があり、不安を表出せずに過ごしていたが、徐々にポプラがどんな場所であるか理解し、作業内容や曜日ごとに活動の違いなどがあることがわかってくると、その違いに敏感に反応するようになる。活動の内容を「教えてほしい」「困っている」ということを言葉で伝えることができず、イライラして自傷に繋がることが時々見られるようになる。イライラする曜日、

時間帯、メモで伝えてくれた単語をヒントにNさんが気になっていたりすることを職員が推測し、対応していった。Nさんは言葉を発することとはできるが、必要なことが要求をうまく伝えることができない。これは自閉症の方特有のコミュニケーションの苦手が原因にある。Nさんの場合は自発的コミュニケーション（自分から意志を表現する）が弱いということがわかる。

Nさんはどんな場面でもんな言葉を職員に向けたか、Nさんのコミュニケーション能力を整理した。職員に対して「情報提供」の言葉を発することはできるが、その言葉の裏の「要求」を伝えることができていなかった。これまで職員はNさんの情報提供からどうしてほしいのか推測し、対応していた。Nさんは情報提供のみで要求を伝えなくても

周囲が対応してくれるという経験を重ねていった。職員はNさんの自発的コミュニケーションをする場面をなくしてしまっていたことに気づいた。

Nさんのこれからの人生をより豊かなものにするためには、自発的コミュニケーションを少しずつでも増やしていきることが大きい。支援の方向性が見えてきた。令和三年四月から新たな取り組みとしてコミュニケーションツール「PECSカード」を始める。おやつ、選択場面からスタートし、その後は他の活動場面で使えるカードを用意し、「ください」と本人が要求を伝える場面を作っていた。

推測しながら対応を考え、支援した最初の三年、本人の不安をみつけ、対応することで、不安は解消され、落ち着いた日々を増やしていくことはできていた。しかし、自閉症の方の特性についての学びを通し、推測だけでは本人の自発的なコミュニケーションをする場面を減らしてしまっていると感じかされた。新たな支援の方向性が見え、スタートを切る。Nさんの支援を



通して、ポプラの他の利用者の支援についても共通する部分があることも多く、支援の方向性を見つめ直すきっかけとなった。まだまだ手探りでスタートしたコミュニケーション支援であるが、利用者が自発的なコミュニケーションを増やし、自信を持って活動できるように支援をしていきたい。

(令和三年度研究発表より抜粋)

令和三年度県福祉協会主催
研究発表会にて最優秀賞に
選ばれました。

かなの里

令和4年10月～令和5年3月まで

～音楽会10月～



ふれあい班



ゆとり班



工房R班



のど自慢大会



11月 秋の健康診断



11月しののめ信金
藤岡営業所にて絵画展



12月 クリスマス会



12月 餅を食べる会



1月 初詣



1月 新年会 ～絵馬を書きました～



2月 節分



3月 お楽しみ会 ～ゲームをして楽しみました～



3月 お花見

..... かなな会 かなの里 令和4年10月～令和5年3月までの主なできごと

- | | | | | |
|--|---|---|--|--|
| <p>31日・年度末大掃除
実習生受け入れ
・育英短期大学1名(2月24～3月3日)
・育英大学2名(2月27～3月10日)
介護等体験
・上武大学1名(10月17日～10月21日)
・共愛学園国際大学1名(10月31日～11月4日)
・上武大学1名(1月16日～1月20日)</p> | <p>30日・自閉症啓発デー絵画展示
(「らん」藤岡にて4月2日まで)
・花見会
29日・避難訓練(夜間想定)
27日・BCP策定会議
22日・第4回 評議員会
18日・保護者会
14日・第4回 理事会
10日・おたのしみ会
3月
17日・グループホーム実地指導(電話にて)</p> | <p>31日・新年会
26日・第3回評議員会(書面にて開催)
25日・「己ノヲシ」集団接種5回目(1班)
23日・避難訓練(水害想定)
23日・新乾燥機新導入
19日・ガス乾燥機新導入
18日・第3回理事会(書面にて開催)
13日・貯水槽修理
13日・BCP会議
11日・大掃除
9日・餅を食べる会
9日・クリスマス会
9日・研究発表(zoomにて)</p> | <p>11月
1日・しののめ信金絵画展示
4日・秋の健康診断
9日・研究発表(zoomにて)</p> | <p>10月
9日・館内電気点検
13日・インフルエンザ予防接種
18日・発電機メンテナンス
18日・昼食非常食提供
28日・音楽会</p> |
|--|---|---|--|--|

藤岡市福祉支援センター

〈就労継続支援B型事業〉

(就労班・作業班)

就労継続支援B型事業は、就労班5名、作業班15名、計20名の利用者が所属しています。就労班は、3年ぶりに開催された企業説明会に参加しました。久しぶりの施設外活動だったので皆さん緊張気味でしたが、企業様の説明を真剣に聞いておりました。令和5年度は、コロナ禍前の様な就労活動が出来ることを願っております。

作業班に3月から新しい仲間が1名増えました。作業や行事などをこれから沢山経験してもらい、皆と一緒に頑張っていきます。

(記…主任職業指導員 萩原英幸)



もくせい

〈生活介護事業〉

(生活班・作業班)

生活班はコロナ対策に気を付けながら、外出をしてきました。利用者さんの希望で高崎城址跡の満開の桜を楽しみました。丁度満開で出店などもあり、賑やかでいかにも花見と言った様子。桜の下を車椅子で移動し、より綺麗なポイントを探し記念撮影もしました。その後は花より団子よろしく、美味しい物も食べに行き、その車窓では思い出の道を通り、懐かしい話に花が咲きました。コロナ前、普通に出来ていた事を、少しずつ取り戻し、日々ハリのある生活が出来るよう、お手伝いを続けていきたいと思っています。

(記…生活支援員 平井直子)

もくせい
令和4年10月～令和5年3月の
主なできごと

- 10月 所内スポーツ大会(28日)
- 11月 利用者健康診断(4日)
利用者インフルエンザ予防接種(24日)
- 12月 クリスマス会(16日)
もくせい納会(28日)
冬季休暇(12/29～1/4)
- 1月 二葉養護学校見学(24日)
- 2月 藤岡特別支援学校中等部見学(9日)
利用者個別面談、個別支援計画策定(13日)
- 3月 藤岡特別支援学校高等部見学(10日)
二葉養護学校実習(13日)
防災訓練(24日)
年度末食事会(31日)

マロニエ

サービス管理責任者

飯島 裕

令和4年度は、三月までに退所や施設間移動の方がいた為、16名での活動となりました。

11月には、同敷地内のかんの里で、コロナウイルスクラスター発生により、二週間の休所対応をとらせて頂きました。再開後は今まで以上に感染対策をとりながら、生活を送っていました。

行事は施設内で行う事がほとんどでしたが、皆さまが楽しめるものを計画・運営させて頂きました。なかでも年末に行った白玉作りでは毎年かんの里と合同で行いましたが、今年はマロニエ独自で行い、餅と触感が似ている白玉を作り、餅の変わりとしましたが、嚥下に心配のある方でも、安心して食べられ、笑顔も多く見られていました。

この五月でコロナも5類に分類されましたが、今後も基本的な感染対策をとりつつ、外出等も計画をしていきたいと思っています。

マロニエ
令和4年10月～令和5年3月の
主なできごと

- 10月 グループ旅行代替え・かつ哲音楽会(28日)
- インフルエンザ予防接種(11日)



- 11月 健康診断(4日)
みかん狩り外出(2グループに分かれてマロニエ休所対応(かんの里クラスター発生により)(14日～27日)
- 12月 クリスマス会(21日)
水害想定避難訓練(23日)
うどん・白玉作り&大掃除(28日)
- 1月 みかん狩り代替え・登利平新成人のお祝い(20日)
コロナワクチン集団接種(26日)
- 2月 節分 豆まき(1日)
コロナワクチン集団接種(2日)
- 保護者会(14日)
いちごパーティー(いちご狩り代替(23日)
- 3月 納会(3回に分けて)

ポプラ

施設長 松井保隆

昨年度はまだコロナウイルスの流行で、やはり以前のように行事や外出が出来ませんでした。現在、だいぶ落ち着いてきたコロナウイルスですが状況を見て外出を増やしていきたいと考えています。

昨年度の行事の中ではクリスマス会がコロナウイルスの影響で延期の延期で、中止も考えたくらいでした。お正月休みに入る二日前に何とか行うことが出来しました。当初はキッチンカーでハンバーガーを食べる予定でしたがそれも中止。職員も少ない中、皆楽しみにしているイベントでしたので時期はずれましたが行うことにしました。クリスマスDVDを見て、モスバーガーを食べました。感染予防のため、キーキづくりは出来ませんでした。購入したのプレゼントでは皆嬉しうに袋を開け賑やかに楽しく終えることが出来ました。コロナウイルスが大流行していた時期だったのでとにかく安全を第一に考え、楽しい一日になるように職員一同考えました。予定の変更・準備の変更などがあり、たいへん疲れましたが、皆の楽しそうな姿を見るとやっとなかったと思えた一日でした。



ポプラ
令和4年10月～令和5年3月の
主なできごと

- 10月 登利平テイクアウト弁当 (10日)
- インフルエンザ予防接種 (13日)
- 音楽会 (28日)
- 11月 グループ別みかん狩り外出 (8、10、11日)
- 12月 クリスマス会 (27日)
- 大掃除、もちつき (28日)
- 1月 初詣 (5日)
- 新年会 (19日)
- 保護者会 (24日)
- 2月 節分豆まき (3日)
- いちご狩り代替え行事 (23日)
- 3月 たこ焼きづくり (21日)
- 避難訓練 (28日)



すずかけ

一年が経過して

サビス管理責任者 久坂英男
徐々が増えて、現在は、11名になりました。日中活動は午前中は内職・自立課題。午後は主に余暇活動を中心に行い、活動は利用者さんが意欲的に、また楽しめるように職員間で検討して提供してきました。利用者さんからも「すずかけはたのしい」と言っていただけで嬉しく思います。

私個人としては、かななの里からの異動で、今まで経験した事のない業務が増え慌ただしい毎日ですが、他の職員の協力があり、何とか乗り切れる事が出来ています。

これからも、すずかけの利用者さんが安心して楽しく過ごせる場所になるように職員一同、情報を共有して支援するように努めていきたいと思えます。また、かなな会の作品を、多くの皆様に見ていただけるように、情報発信の中心となるようにしていきたいと思えます。



沢山の善意♡♡♡ ありがとうございました

(令和4年10月～令和5年3月迄)

(順不同・敬称略)

(かななの里)

- 山本久子 野呂いくよ
- 黒澤進一 清水彩
- 荻野節子 桜井文示
- 蛭川貴則 今井憲之
- 中島康子 林幸子
- 影山正男 渡辺義治
- 柳井靖

全国社会福祉協議会法人振興部
小野民児協 藤岡市社会福祉協議会
あそか会 群馬県障害政策課
群馬県こんにやく組合
福祉協会北毛ブロック
藤岡市健康福祉部コロナ対策係
(各事業所へ)
P & G 高崎工場



かななの里
令和4年10月～
令和5年3月

〈事故報告〉 計18件

内訳

- 転倒 1
- 落下 6
- 誤嚥 5
- 誤飲 1
- 器物破損 1
- 誤薬、落薬 1
- 衝突 4

1 6 5 1 1 4

薬を口の中に入れたら、飲み込むまでを確認する。交代勤務の中で、いかに情報共有するかが大事。高齢化、重度化している中で、事故に遭いやすい状況を想定しておく。

〈相談・苦情受付〉 計1件
かなな通信に載っていた本人の写真を見て、髪が伸びていたことを指摘される。コロナ禍で保護者の出入りがほとんどなかったため、苦情も少なかった。園での生活を知ってもらったため、広報紙や写真を定期的に見せることは必要。

表彰おめでとう
ございます

令和4年11月9日

県社会福祉協議会より

役員功労

理事 茂木 要一

編集(後記)

この所書いと思ったら、次の日は一転して寒くなったりと、あまりに温度差が激しい時があります。こんな時に体調を崩しがちになるので注意が必要で、コロナも5類に移行し、扱いも変わりました。世の中を見ても色々なことが動き出しました。コロナ禍でも工夫してよかったこともありました。そういったことを踏まえつつ、新たないい形で、日常を戻していきたいと思えます。